



寛容になろう。



弁護士
安保千秋

いつの時代も、年上の者の若者に対する評価は厳しいものだが、現在の社会は余裕がなく、ますます若者に対して厳しくなっている。

私は、法律実務家として仕事をしている。この仕事に対する意欲を失わずに来れたのは、相談者等の複雑な気持ちや状況を想像し、その状況を少しでも良くしたいという感受性と想像力を僅かばかりではあるが、なんとか持ち続けているからである。そして、この感受性と想像力を持ち続けられたのは、悩みながら試行錯誤を繰り返していた若い頃に、周りが試行錯誤することを黙認してくれたり、時に手を貸してくれたりしたからであると思う。

悩み多き若い時代の試行錯誤は、長い人生を支える背骨となってくれる。若者は、試行錯誤を歓迎する寛容さを、社会にもっと求めても良いと思う。また、年上の者は、若者から遠ざかるほど、若者に厳しくなる傾向があることを自覚して、もっと、若者に寛容になろう。

(京都市ユースサービス協会評議員)

3

特集

教育格差に挑む学習支援の広がり

7

ねっとわーく
「親子支援ネットワーク♪あんだんて♪」

8

多様な地域情報が集まる

「ふしみんメデイアパブスタジオ」

10

若者たちが繋がる「住み開き」〈広がるシェアハウス〉

12

北青少年活動センターのページ
北青少年活動センター「地域活性ボランティア」

14

ユースかわら版